



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	4,138	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	389	8,601	805
事業費計		(千円)	0	389	12,739	805
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	2.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	119.32		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	13,860		
事業コスト		(千円)	0	14,249		

R02年度当初積算根拠	報償費：都市再生整備計画評価委員会委員謝礼 140,000円 旅費：普通旅費・特別旅費 353,000円 需用費：消耗品費・食糧費・印刷製本費 210,000円 委託料：都市再生整備計画評価・策定支援業務委託 11,792,000円 使用料及び賃借料：駐車場使用料 2,000円 負担金補助及び交付金：講習会受講料等 242,000円
-------------	--

予算の方向性	理由	現行都市再生整備計画から中心市街地再生等に向けて、新たな都市再生整備計画を策定する。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない、又は不明である。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		